

## 彙報

### 一 故朝永三十郎先生の三十三回忌 について

昭和五十八年九月十八日は、本京都哲学会の草創期および躍進期において、特に『哲学研究』の創刊（大正五年）の際、最大の功労者であられた故朝永三十郎先生の三十三回目の祥月御命日であった。当日、御長男の故朝永振一郎博士（ノーベル物理学賞受賞者）の御宅（東京都武蔵野市）において、施主の振一郎様未亡人領子様はじめ御親族十八名が御参列、先生の教へ子の高坂善見師（東京麻布、明称寺）の読経によつて、三十三回忌法要が営まれた。京都哲学会では、御霊前に御供を捧げて御冥福をお祈り申し上げた。

先生の御墓所は、京都の東大谷にあり、先生は奥様、および振一郎様（昭和五十四年七月八日御逝去）の御霊とともに安らつておられる。

なほ、御次男陽二郎様（甲南大学名誉教授、地理学）は兵庫県芦屋に、御長女静子様は堀家（堀健夫氏、関西学院大学名誉教授、物理学）に嫁がれて神奈川県秦野に、また御次女綾子様は関口家（関口健治氏、医師）に嫁がれて前橋に、それぞれお住まひである。先生の御内孫は五人、御外孫は十三人、みな成人して活躍しておられる。御一門の御繁栄を衷心より御慶び申し上げたい。

### 二 物故前委員の著作集刊行について

故矢田部達郎先生（昭和三十三年三月御逝去）の著作集十巻が、昨五十八年九月、本吉良治教授その他の方々の編輯により、培風館から刊行された。

矢田部先生は昭和十九年から三十二年まで心理学講座を御担当、戦中戦後の多難な時期に斯学のために尽瘁せられた。

なほ最近公刊された物故前委員の全集および著作集に左記のものがある。掲げて、御遺業と御遺徳とを顕はしたい。

一、有賀鉄太郎著作集（全五巻、創文社、昭和五十六年完結）——有賀鉄太郎先生（昭和五十二年御逝去。昭和二十三年より三十七年まで基督教講義御担当。）

一、九鬼周造全集（全十一巻および別巻、岩波書店。昭和五十七年完結）——九鬼周造先生（昭和十六年五月御逝去。昭和八年より委員。同十年より西洋近世哲学史講座御担当。）

一、久松真一著作集（全八巻、理想社。昭和五十五年完結。）——久松真一先生（昭和五十五年二月御逝去。昭和十二年より二十四年まで委員。二十一年より仏教学講座御担当。宗教学講座を御分担。）

### 三 京都大学文学部哲学科講義題目

——昭和五十一年度——

※二回生が履修できる専門科目

〔共〕大学院と共通

〔院〕大学院のみ

講義 教授 辻村 公一 ※哲學概論

研究 教授 辻村 公一 時間論

” 助教授 木曾 好能 哲學と論理

” 講師 茅野 良男 現代の哲學的人間學(倫理學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

” 講師 坂東 性純 日本思想史(倫理學、仏教學と共通)

西洋哲學史

講義 教授 藤沢 令夫 ※西洋古代哲學史概説

” 教授 山田 晶 ※西洋中世哲學史概説

” 教授 酒井 修 ※西洋近世哲學史概説

研究 教授 藤沢 令夫 範型性(イデオ)と現實性(エネルギイ)

” 教授 山田 晶 創造の問題

” 教授 酒井 修 歴史的世界

” 講師 稲垣 良典 中世の倫理思想(基督教學と共通)

” 教授 上田 泰治 ホワイトマンの思想展開

” 教授 竹市 明弘 ハイデッカー研究

” 教授 永井 博 科學思想史

” 教授 藤沢 令夫 Platon: Politicus

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

” 教授 藤沢 令夫 Aristoteles: De Generatione et Corruptione

sophische Abhandlung. B. Russell: Human Knowledge [訳]

印度哲学史

演習Ⅲ教授	山田 晶	Thomas Aquinas: Summa Theol. I. [共]	講義教授	服部 正明	※インド思想史 Mīmāṃsā 研究序説 [共]
人文研 助教授	山下 正男	Petrus Hispanus: Summulae Logicales [共]	教授	服部 正明	Pramāṇa 研究(仏教学と共通) [共]
講師	小池 三郎	Augustinus: De Doctrina Christiana (基督教教学と共通) [共]	講師	宇野 惇	Hinduism 研究(梵語学梵文学と共通) [共]
講師	日下 昭夫	Anselmus: De Grammatica [共]	講師	原 実	古代インドにおける刑罰思想(梵語学梵文学と共通) [共]
医療短大 助教授	山本 耕平	E. Gilson: Being and Some Philosophers [共]	講師	渡瀬 信之	古典インド天文学史の研究(梵語学梵文学と共通) (前期) [共]
教授	酒井 修	Hegel: Der Geist des Christentums und sein Schicksal [共]	講師	矢野 道雄	学梵文学と共通) (前期) [共]
教授	磯江 景孜	W. v. Humboldt: Über die Verschiedenheit des menschlichen Sprachbaues und ihren Einfluß auf die geistige Entwicklung des Menschengeschlechtes. [共]	演習 教授	服部 正明	(後期) Yāmana-Purāṇa [共]
講師	斎藤 義一	J. G. Fichte: Erste und zweite Einleitung in die Wissenschaftslehre. [共]	助教授	大地原 信彦	サンスクリット文選Ⅱ(梵語学梵文学と共通) [共]
講師	山野 耕治	W. Jaeger: Paideia, die Formung des griechischen Menschen Platon: Meno [共]	助手	井狩 弥介	Mokṣadharma (Mahābhārata, XII) (仏教学、梵語学梵文学と共通) [共]
助 手	今林万里子		演習 教授	服部 正明	※初等サンスクリット文法(梵語学梵文学、仏教学、西南アジア史学と共通) [院]

中国哲学史

講義 教授 湯浅 幸孫 ※中国思想史(清代)

研究 識師 日原 利国 漢代思想研究

講師 内山 俊彦 荀子の思想

人文研 助教授 吉川 忠夫 斐氏の史学(東洋史学と共通)

演習 教授 湯浅 幸孫 陸隴其…三魚堂文集

人文研 教授 尾崎雄二郎 説文解字注(中国語学中国文学と共通)

講読 講師 黄 濟 清 法家文選

研究 教授 湯浅 幸孫 毛奇齡の学術

心理学

講義 教授 柿崎 祐一 ※視知覚の心理学

教授 本吉 良治 ※心理学概論

教育学部 教授 梅本 堯夫 教育心理学概論(教育学部と共通)

教育学部 助教授 百名 盛之 視聴覚教育概論(教育学部と共通)

研究 助教授 平野 俊二 学習心理学

講師 生沢 雅夫 実験計画法と線形模型

講師 佐々木 薫 集団目標の形成ならびに達成過程(前期)

講師 鹿取 広人 認知行動の成立過程

講師 芳賀 純 心理言語学研究

講師 波多野 誼余夫 思考の発達(教育学部と共通)

講師 清水 克正 音声科学の研究(言語学と共通)

演習 助教授 平野 俊二 心理学演習(1)

助教授 平野 俊二 心理学演習(2)

教授 本吉 良治 心理学特殊実験(実験乙)

教授 本吉 良治 心理学特殊実験(実験甲)

教授 本吉 良治 心理学統計法(社会学と共通)

助教授 平野 俊二 対人関係の基礎

助手 島 久洋 ウェルナー・カプラン、シンボルの形成

研究 教授 柿崎 祐一 動物の記憶・学習についての最近の動向

教育学部 教授 本吉 良治 教育心理学(教育学部と共通)

教育学部 助教授 坂野 登 教育心理学

教育学部 助教授 中谷 和夫 数理心理学

演習 助教授 本吉 良治 現代心理学の諸問題

教授 中島 誠 発達心理学演習

助教授

木下富雄

流言の研究(昨年度のつゞき)

[院]

教育学部

河合隼雄

人格心理学(教育学部と共通)

[院]

教育学部

百名盛之

倫理学

講義

助教授 西谷 裕作

※倫理学概論

研究

教授 保田 清

道德的価値の拘束性

講

師 中埜 肇

Sittlichkeit の概念をめぐる諸問題

講

師 茅野 良男

現代の哲学的人間学(哲学と共通)

講

師 坂東 性純

日本思想史(哲学、仏教学と共通)

演習Ⅰ

教授 森口美都男

Kant: Kritik der Urteilskraft, §11 かん

演習Ⅱ

助教授 森口美都男

倫理学の諸問題

演習Ⅲ

助教授 西谷 裕作

J. Rawls: A Theory of Justice.

講

師 深谷 昭三

M. Scheler: Wesen und Formen der Sympathie, Vom fremden

講

師 三嶋 唯義

J. Maritain: La philosophie mo-

講読

助教授 西谷 裕作

rale. (宗教学と共通)

[共]

演習

助教授 作田 啓一

G. Marcel: Etre et Avoir [共] 行為解釈の問題(社会学と共通)

講義

助教授 新田 博衛

※美学概論

[共]

研究

助教授 清水 善三

※日本美術史概説

[共]

講

師 乾 由明

鎌倉彫刻史研究

[共]

講

師 武田 恒夫

十九世紀フランス絵画史

[共]

講

師 上平 貢

水墨障壁画論

[共]

講

師 山岡 泰造

中国の山水画

[共]

講

師 秋山 光明

日本における風景・風俗画の発達

[共]

演習Ⅰ

助教授 清水 善三

(国語学国文学と共通)

[共]

演習Ⅱ

助教授 新田 博衛

美学美術史学の諸問題

[共]

演習Ⅲ

助教授 清水 善三

美術史学の実地指導

[共]

講

師 乾 由明

M. Brion: L'oeil, l'esprit et la main du peintre.

[共]

講

師 米沢 有恒

E. Meumann: System der Aesthetik.

[共]

演習I 助教授 清水 善三  
 助教授 新田 博衛  
 社会学 美学美術史学の諸問題 [院]

社会学

講義 教授 池田 義祐 ※社会学概論  
 研究 教授 池田 義祐 社会の本質と形相 [共]  
 " 助教授 中 久郎 デュルケームの社会理論 [共]  
 " 助教授 高橋 三郎 攻撃性理論の研究 [共]  
 " 助教授 居安 正 エリート論の系譜 [共]  
 " 講師 三沢 謙一 知識社会学の諸問題 [共]  
 " 講師 阪井 敏郎 日本家族の諸問題 [共]  
 " 講師 倉田和四生 都市社会学 [共]  
 演習 教授 池田 義祐 社会学の諸問題  
 " 助教授 中 久郎 社会学方法論  
 " 講師 深谷 昭三 M. Scheler: Wesen und Formen der Sympathie, Vom fremden Ich. (倫理学と共通) [共]  
 講読 助手 高沢 淳夫 仏書講読  
 " 講師 大村 英昭 英書講読 N. J. Smelser, Sociological Theory (後期) [共]  
 実習 講師 住田幸次郎 ※心理学統計法 (心理学と共通)  
 演習 教授 池田 義祐 現代社会学の諸問題 [院]  
 " 助教授 中 久郎 理論社会学の問題 [院]  
 " 教授 作田 啓一 行為解釈の問題 (倫理学と共通) [院]

社会学 (文化人類学)

研究 助養部 米山 俊直 社会人類学の基礎理論 [共]  
 " 講師 口羽 益生 村落の国際比較研究 [共]  
 " 教授 池田 次郎 人類学 (考古学と共通)  
 演習 助教授 伊谷純一郎  
 東南ア 教授 水野 浩一 社会人類学 [共]

宗教学

講義 助教授 長谷 正当 ※宗教学概論  
 研究 教育学部 上田 閑照 ドイツ神秘主義研究 [共]  
 " 助養部 山本 誠作 ホワイトヘッドの研究 [共]  
 " 講師 石田 慶和 『教行信証』の哲学的考察 [共]  
 " 講師 田丸 徳善 宗教学説史研究 [共]  
 演習 助教授 長谷 正当 P. Ricoeur: Fallible man [共]  
 " 講師 稲葉 稔 Hegel: Phänomenologie des Geistes (C. die offenbare Religion.) [共]  
 演習III 講師 三嶋 唯義 J. Maritain: La philosophie morale (倫理学と共通) [共]  
 講読 講師 藪田 垣 Schleiermacher: Der Christliche Glaube (Einleitung) [共]

仏教

講義 教授 梶山 雄一 ※インド仏教思想史

研究 教授 梶山 雄一 後期インド仏教の業報論 [共]

” 助教授 小林 信彦 Kavyalamkara の研究 (梵語学梵文学と共通) [共]

” 講師 宇野 淳 Pragna 研究 (印度哲学史と共通) [共]

” 講師 坂東 性純 日本思想史 (哲学・倫理学と共通) [共]

” 講師 田村 智淳 仏教混淆サンسكريットの詩形研究 (梵語学梵文学と共通) [共]

” 講師 桂 紹隆 Anumana 研究 [共]

” 助教授 大地原 豊 プラークリット文選 (梵語学梵文学と共通) [共]

” 助教授 小林 信彦 学と共通) [共]

” 人文研 柳田 聖山 景德伝灯録 [共]

” 助教授 荒牧 典俊 Sutenipata [共]

” 助教授 井符 弥介 Moksadharma (Mahābhāra, XII) (印度哲学史・梵語学梵文学と共通) [共]

” 助教授 小林 信彦 ※初等サンسكريット文法 (印度哲学史・西南アジア史学・梵語学梵文学と共通) [共]

” 人文研 御牧 克己 チベット語 [共]

” 助教授 梶山 雄一 蔵文「ブツダチャリタ」 [院]

” 講師 瓜生津隆真 Caruṅsataka [院]

” 講師 野本 真也 古典へブライ語文法および「創世記」原典の講読・釈義 (西南アジア史学と共通) [共]

” 講師 遠藤 彰 マルコ福音書原典講読と釈義 [共]

” 講師 武藤 一雄 ※キリスト教学序説 [共]

” 助教授 武藤 一雄 キリスト教学と神学 [共]

” 助教授 水垣 涉 初期キリスト教思想の形成 [共]

” 講師 佐藤 吉昭 基督教教父の自然観—テルトリアーヌスからアンブロジウスへ— [共]

” 講師 今井 晋 ルターにおける聖霊の問題 [共]

” 講師 山中 良知 信仰と倫理の関係について [共]

” 講師 稲垣 良典 中世の倫理思想 (西洋哲学史と共通) [共]

” 助教授 武藤 一雄 Kierkegaard, “Der Begriff Angst” [共]

” 助教授 水垣 涉 A. Adorn, Lehrbuch der Dogmengeschichte I (S. 61-75) [共]

” 講師 野本 真也 古典へブライ語文法および「創世記」原典の講読・釈義 (西南アジア史学と共通) [共]

” 講師 遠藤 彰 マルコ福音書原典講読と釈義 [共]

” 講師 武藤 一雄 ※キリスト教学序説 [共]

” 助教授 武藤 一雄 キリスト教学と神学 [共]

” 助教授 水垣 涉 初期キリスト教思想の形成 [共]

” 講師 佐藤 吉昭 基督教教父の自然観—テルトリアーヌスからアンブロジウスへ— [共]

” 講師 今井 晋 ルターにおける聖霊の問題 [共]

” 講師 山中 良知 信仰と倫理の関係について [共]

” 講師 稲垣 良典 中世の倫理思想 (西洋哲学史と共通) [共]

” 助教授 武藤 一雄 Kierkegaard, “Der Begriff Angst” [共]

” 助教授 水垣 涉 A. Adorn, Lehrbuch der Dogmengeschichte I (S. 61-75) [共]

” 講師 野本 真也 古典へブライ語文法および「創世記」原典の講読・釈義 (西南アジア史学と共通) [共]

” 講師 遠藤 彰 マルコ福音書原典講読と釈義 [共]

講師 小池 三郎

Augustinus: De Doctrina Christiana (西洋哲学史と共通) [共]

演習 教授 武藤 一雄 院生の研究発表を中心に討論する

[院]

四 京都大学文学部哲学科卒業論文題目

—昭和五十二年三月—

哲学

大塚賢司 ヒュームにおける外界存在の問題について

塩見敏夫 フッサールにおける「生活世界」と学問の意味について

味について

平松希伊子 デカルトの方法について

石丸悦朗 『純粹理性批判』における感性と悟性の区別と関係について

五島邦治 純粹経験ということ

—西田幾多郎博士の一考察—

田中勝徳 初期ヘーゲルとフランス革命

田村均 ロックの認識理論における実体の問題について

米田和夫 主観と客観

久保健治 植谷雄高における「不可能性」について

黒河内哲夫 方法に証せらるること

木岡伸夫 ベルクソン哲学における行為の意義

—『物質と記憶』を中心として—

西洋哲学史

飯塚知敬 トマス・アクィナスにおける真理について

金山弥平 魂の生

—『パイドン』における魂の不死の証明から—

高橋憲雄 「徳は知である」

—プラトンの初期対話篇における一問題について—

中村治 有と本質について

について

福岡文秀 ヘーゲルの哲学史観の萌芽

松田京三 カントにおける対象と客観

安田秀雄 初期フイヒテにおける有の問題

吉永良正 メルロ・ポンティの『行動の構造』について

山口明 始元の問題

倉田隆 ハイデッガーにおける時間性について

—死の問題を中心として—

印度哲学史

印度哲学史

河野亮仙 ヴィシユヌ教パンチャートラ派の創造論

矢板秀臣 Vaiseshika 学派における時間と空間の概念について



## 心理学

穂利 透 マグニチュード評価法の妥当性

石井 徹 原因の帰着におよぼす客観的自己認知の効果  
についての考察

佐藤 修一 顔形認知についての実験

高橋 十九朗 フリスキャロフの P. B. Dews によるマルチ  
プル・ピリオドを用いての解析

松本 哲 情動経験時における興奮の転移に関する研究

百合本 仁子 連合的記憶の構造について

四ツ谷 純子 シロネズミの逃避・回避学習に及ぼす不可避  
電撃刺激の効果についての一研究

塚越 義信 個人の態度

——従順性に関して——

中司 基樹 パーソナル・スペースを規定する諸要因の考  
察

石垣 泰生 石垣島における台湾移民集団に関する研究

加藤 啓一郎 物質量の保存概念獲得に関する研究

## 倫理学

服部 尚己 フッサールの相互主観性について

伊藤 正博 『有と時』の Systematik における〈Mit-〉  
という契機の問題について

石丸 賢一 時間小論

## 美学美術史学

勝部 優子 一五世紀フィレンツェ絵画における自然主義

久谷 恵子 ティントレットの「最後の晩餐」

室井 尚 Maurice Blanchot の "Oeuvre" 概念

西村 和子 日本短詩型文学における韻と律の問題

松山 竜雄 劇的表現論序説

大川 淑 関係論

後藤 望 万鉄五郎論

森谷 雪子 神道曼荼羅の展開

——中世宗教画に関する一試論——

## 社会学

小川 賢治 階級理論の諸問題

中島 道男 デュルケム理論における「道徳的個人主義」  
の論理と構造

野村 登志子 家族病理学の今後

深井 俊秀 マス・コミュニケーション研究

村岡 政美 社会的性格について

大杉 至 戦後日本の社会科学における主体構想論の系  
譜

木崎 康夫 社会科学の論理をめぐって

鈴木 祐一郎 ルカーチとマンハイム

——なぜ、いかにして普遍的なものを求める

か——

友田哲男 個性化の過程

中島勝住 中国社会主义教育革命の変遷

根来竜之 人間のベニク行動の分析を通じての行為の

機能連関モデルの検討

増 淵 洋 価値と行動

水 川 繁 官僚制概念の変遷と現代的意味について

白崎六雄 宗教起源論

——世界の再認識をめざして——

名古光良 C. W. Mills の思想的転位について

中野隆典 大衆社会の政治構造

宗 教 学

岡 野 均 W・ジェイムズにおける人格類型についての

考察

森岡正芳 人間関係における自己の知覚および変容

江守清美 蘇生する幸福論

——牧口常三郎著『創価教育学体系』をおっ

て——

山田晶子 聖なるものについて

土居祥治 ヘーゲル『キリスト教の精神とその運命』に

おける〈運命〉と〈愛〉

梅田隆三 M・ブーバーにおける Ich-Du 概念につい

岩崎重樹 西田哲学の「絶対意志」について

仏 教 学

大窪祐宣 Catusparisatitra の研究

竹市昭英 Abhisamayālaṅkāra の研究

五 京都大学大学院文学研究科（哲学系）

修士課程修了論文題目

——昭和五十二年三月——

哲 学

魚住洋一 現象学的還元の問題

角 忍 『純粹理性批判』に於ける様相概念の問題

横山善裕 アリストテレスの「ある関係にあるものども」

渡辺菊郎 有の問と芸術作品の根源

——有の問の道筋に留意しつつ——

児玉正幸 意志の形而上学及びそこから帰趨する結論

浜野研三 デカルト哲学に於ける想像力と感覚の役割

美濃 正 カントの分析論

沢田都仁 時間の問題

——現象学における時間論を契機として——

向井 久 自由

——法の哲学的原理——

## 中国哲学史

川原秀城 曆思想より見た中国古代文化史

## 印度哲学史

正信公章 Bhaskara の Brahmanstra-bhāṣya における  
jāna と karmān の関係茂木明三 Yuktidipika における 'āpta' の解釈をめぐる  
て

## 西洋哲学史

小沢和道 アウグスティヌスに於ける照明説の考察  
——『教師論』と『三位一体論』に拠る——

権八哲朗 ハイデッガーに於ける言葉の問題

山田順一郎 プラトンに於けるイデアとその似像

石原渉 マルクス主義哲学の形成と疎外論

## 宗教学

荒井優 キルケゴールにおける実存の生成と構造

菱木政晴 ホワイトヘッドと「哲学」

宮永泉 パスカルのキリスト教

## 仏教学

秋本勝 Tatvasaṅgraha: Pramāṅgārthavaparīkṣā

## の研究

本庄良文 初期仏教徒の〈正統〉バラモン教批判

## 基督教学

安酸敏真 ラインホルト・ニーバーの歴史理解とその  
問題性

福井英孝 キルケゴールに於ける「自己」の問題

中谷俊子 キルケゴールに於ける「愛の律法」

松岡由香子 ドイツ神秘主義と公案禪

## 心理学

芳賀繁 文章処理について

長谷川芳典 Taste Aversion Learning における長時間  
遅延

## 遅延

塩坪いく子 幼児における空間の概念

大道真知子 命名行動の発達について

## 社会学

栗岡幹英 マルクス社会理論の基礎視座  
——『経済学批判要綱』の社会把握——

小松秀雄 ウェーバー社会学に於ける官僚制的支配の構造

高橋由典 ウェーバーの思考についての一解釈

永井良和 パーソンの動機づけ理論

平野信博 社会統合原理としてのウィッチクラフト信仰

千葉芳夫 マンハイム知識社会学における歴史と認識  
筒井葉子 儀礼——その社会学的分析——

美学美術史学

篠原資明 ベルグソンにおける芸術創造の問題  
山西享 『判断力批判』に於ける趣味と天才の概念をめぐって

六 京都大学大学院文学研究科（哲学系）

博士課程単位修得者研究論文要旨題目

——昭和五十二年三月——

哲学

入江重吉 初期ヘーゲルにおける人倫の思想  
亀山純生 フォイエールバッハの「感性」概念の予備的検討  
牧野広義 カントにおける対象の問題

倫理学

榎本百合子 ベルクソンに対するマリタンの批判  
——その倫理学批判を中心にして——  
長岡成夫 規則功利主義をめぐって  
鴛田清一 他者と反省

西洋哲学史

鎌田邦宏 プラトンのいわゆるイデア教論についての予備的考察

竹内亨 場所の問題

——ハイデッガーと西田幾多郎——

蒔苗暢夫 トマス・アクィナスに於ける「天使論」

——人間理解の方途として——

増田三彦 トマスにおける「人間精神の受容と判断」をめぐって

吉田昌市 プラトン後期思想の一断面

宗教学

小田淑子 Jalal al-Din Rumi における fanā' と baqā'  
佐々木亮 ハイデッガーの思索を巡って

基督教学

竹原創一 ルターの礼典論

心理学

庄司留美子 乳幼児期における認知と対人関係の発達  
岡本安晴 若干の数理モデルについて  
坂根照文 前頭前野の機能及び過剰訓練の効果について  
高山草二 選択的注意における問題点

——以下、九九頁下段につづく——